

日本学連臨時総会議事録

開催日時：2014年(平成26年)6月1日(日) 15時31分～15時55分

開催会場：赤城自然園駐車場

(第36回東大OLK大会会場・群馬県渋川市)

【議題】

1. 議長選出
2. 理事改選について
3. インカレスプリントについて
4. 加盟について

【出席者】(敬称略)

氏名	役職	学校名
山川克則	副会長	東京大学卒
齋藤翔太	理事	一橋大学卒
宇井賢	幹事長	京都大学
佐藤大樹	副幹事長	東京工業大学
平野大輔	事業部長	名古屋大学
高橋秀明	広報部長	金沢大学
新粥文哉	事務局長	千葉大学
杉村俊輔	普及部長	東北大学
橋場良太	渉外部長	東北大学
大久保宗典	会計	東京大学
野本圭介	会計監査	筑波大学
五味あずさ	会計監査	金沢大学
大川拓哉	北東学連幹事長	東北大学
久須美裕	北信越学連幹事長	新潟大学
村瀬貴紀	関東学連幹事長	筑波大学
今井祐太	東海学連幹事長	名古屋大学
糸井川壮大	関西学連幹事長	京都大学
山上大智	インカレロング2014実行委員長	東京大学卒

【出席校】(25)

北海道、東北、宮城学院女子、岩手、岩手県立、東京、一橋、十文字学園女子、実践女子、お茶の水女子、慶応義塾、相模女子、千葉、筑波、東京工業、東京農工、横浜市立、横浜国立、早稲田、椛山女学園、名古屋、京都、京都女子、金沢、新潟

【委任状】(7)

福島、茨城、津田塾、日本女子、静岡、大阪、奈良女子

日本学連臨時総会議事録

発言者(敬称略)		発言内容など
氏名	所属	
		総会開始: 15時31分
		1.議長選出 今回の総会の議長に、見目 憲秋(早稲田大)を全会一致で選出した。
齋藤	理事	2.理事の改選について 齋藤より、理事の改選について報告があった。採決の結果、全会一致で承認された。
		理事の改選があった。総会での決裁事項なので、承認をお願いしたい。 ○退任・新任の理事は以下の通り。(敬称略) 【退任】(2) 山口 尚宏(筑波大卒)、小林 知彦(名古屋大卒) 【新任】(3) 海老 成直(中央大卒)、高橋 元気、田村 直登(以上、東北大卒) →全会一致で承認された。
宇井	幹事長	3.インカレスプリントについて インカレスプリントについて、前日に行われた日本学連幹事会での議論について説明があった。これまで、今年度のインカレロングに合わせた形で、インカレスプリント正式開催を目指していたが、準備不足・議論不足の懸念があったため、今年度は試行大会を開催することとなった。なお、インカレスプリントについては、各加盟校で持ち帰って議論し、来年度以降の開催については、今年度中に結論を出すこととなった。
		事前に流した日本学連渉外メーリングリストでは、今回の臨時総会において、今年度、インカレスプリントを正式に立ち上げるかどうかについて議決を取ることにしていた。しかし、昨日開かれた幹事会での議論の結果、今年度は試行大会を開催することとなった。よって、この総会での議決は必要なくなった。 幹事会での決定事項とその経緯を説明する。今年度のインカレスプリントは、試行大会という形で、インカレロング前日に開催する。出場枠は昨年度の加盟員数に応じて配分し、(出場選手は)地区学連に選出してもらう。これについては、すでに地区学連幹事長から承諾を得ている。 なお、各大学渉外から意見を提出してもらえるように、フォーマットを事業部長から近日メーリングリストで配布する。インカレスプリントについて何か意見があれば、そこで出していきたい。 今回(の幹事会)で、このような結論に至った理由として、「報告書のリリースが直前となり、各加盟校で話し合う時間がなかったこと」、「規約ができておらず、加盟校での議論が十分にできていない状況で第1回インカレスプリント(正式大会)を開催するのは、大会を継続していくうえであるべき姿ではない」ということがある。 昨年度、インカレミドルの前日に実験大会という形で(インカレスプリントを)開催したが、(開催後、)スプリント・ミドル・リレーの3つを続けて行うのは、参加者側・運営側ともにきついという話があった。今回の試行大会を経て、参加者・運営者から意見を集めたい。そして、来年度「第1回インカレスプリント(正式大会)」を立ち上げられるように、今年度中に規約を整え、来年度から動けるようにしたい。出場人数と開催方式については、どのような議決があったのか。 男子60、女子30である。
山上	ロング長	
山川	副会長	ここで、きちんとした経緯を説明させていただく。 去年からウェブやメーリングリストで出しているように、学連の本来の目的は、オリエンテーリングというスポーツの正当な全国組織である。その中で、世界できちんと行われているスポーツの仕組み(すなわち、スプリント競技の大会開催のシステム)を学連が持っていないのは、重大な欠落である。4年前に、インカレスプリント開催議案を否決してから、その代替りの策として、全日本スプリントに相乗りする方向となったが、それは失敗だったという評価がなされている。結局、ここ2年間は相乗りすることがなかったのだが、ある人に、「学連はこのままの姿勢でよいのか」と言われて、昨年9月に発議したのが、(この議論の)始まりである。 インカレロング・ミドルの実行委員会が動き出し、準備が進んでいる時期に言い出したため、周囲からは驚かれた。私は、「組織として責任を果たさなければならない」と思い、かなり性急に改革に動き出し、独自開催のような形となった。しかし、今年2月の大雪の影響のために、ミドル・リレーの準備を優先させなくてはならない事態となった。さらに、私の仕事を立て込んでいううえ、スプリントは公正さのために多方面からの検証が必要である。 また、インカレでのスプリント競技開催に反対する人が多いものだと、私は誤解していたのだが、昨日の幹事会では、(学生側が異議を唱えているのは)やり方が性急なことだけで、インカレスプリントはあるべきだと思っているという話であった。考え直すに至ったところである。 実際には、(インカレスプリントの構想については、これから)大西・技術委員長に引き継ぎ、山上・インカレロング実行委員長の立てた筋書きで最後の試行大会を行い、来年度以降インカレスプリントを開催していくための試金石を作ろう、というのが昨日の結論である。

宇井	幹事長	<p>「インカレスプリント(の開催)は不採用にすべきだ」という意見が潜在的に多いと思い(実験大会報告書の)文章を書いたが、(実際)はそうではないということ、まず皆さんに確認しておきたい。性急な準備などといった、手続き的な問題があること、また、スプリントは若い人の種目であるので、(インカレスプリントの立案・準備は)若い人がすべきであることを踏まえ、幹事長や大西・技術委員長、山上・実行委員長に引き継ぎたい。本当に継続できるインカレスプリントの開催を目指して進めていってもらうことになる。</p> <p>ある大学からは、「2日前に報告書が公表されたばかりなので、今日の総会には参加できない」という趣旨の委任状が届いている。無理やりいろんなことを言ったことについては、お詫びする。幹事会の議事録はホームページで公表する。それを見て意見を言う場合は、事業部長から届くフォーマットにそのように意見してほしい。</p>
山川	副会長	
山上	ロング長	
杉村 山上	普及 ロング長	
		<p>インカレスプリントの開催に向けて、これから(加盟員から)意見を聞くというのが、学連のスタンスである。なお、(意見の)窓口は事業部長である。</p> <p>→この場では特に意見は出されなかった。後日、改めて加盟校の意見を集約し、議論していくこととなった。</p> <p>(インカレスプリントの準備状況については)すでに配布してある資料を見ていただくといよい。</p> <p>インカレスプリント試行大会は、インカレロング前日に決勝一本方式で行う。開催場所はモデルイベントが開かれる、トリムパークかなづである。スプリント開催後にモデルイベントを開きたい。また、スケジュールの都合や開催のノウハウがないことから、一般クラスは開催せず、選手権のみ設定しようと考えている。ただし、希望者向けに、チャレンジコースを設けるつもりである。選手権出走後、モデルイベントの時間とうまく都合をつけて、フリースタートで行いたい。開催時間はおおむね2時間、(具体的には)12時～2時:インカレスプリント、2時～4時:モデルイベントという形になると思う。</p> <p>表彰は次の日に行うのか。</p> <p>私の中のイメージではそうだが、まだ詰めていない。</p> <p>今話した内容は、まだ予定なので、微調整があると思う。</p>
		<p>4.加盟について</p> <hr/> <p>佐藤より、大学院生の日本学連加盟登録について説明があった。各加盟校に持ち帰って議論し、次回総会で結論を出すこととなった。</p> <hr/> <p>加盟に関する規則第2条に、「加盟員となる資格を持つのは、(中略)大学、短期大学、高等専門学校(4・5年)に正規生として学籍を有する者で、大学院学生、専攻科学生、あるいは聴講生、研究生などの非正規生を除く」となっているが、「大学院学生」という部分を削りたい。そのようにすると、例えば、大学2年生で競技を始めた場合、学連登録後4年以内ならば、大学院生になっても学連登録ができるようになる。</p> <p>なお、4年以内という条件については「連続して4年」ということにする案が出ている。</p> <p>今回の議論には、大学院に入らずに研究生となった場合は含まれないのか。</p> <p>そういう場合は、含めても構わないと思う。</p> <p>これについては、今回の総会ではなく、インカレロング前日の総会で議決をとるメーリングリストで規約の文章をまわすので、どうしたらよいか、クラブ内で話し合ってきてほしい。急に言ったことなので、渉外だけでは決めるわけにはいかない。</p> <p>規約が改正された場合、いつから施行されるのか。</p> <p>年度が替わってからの適用となると思う。</p> <p>→この議題については、各大学に持ち帰って議論し、次回総会で結論を出すこととなった。</p>
		総会終了:15時55分